

春 新社会人 ビシッと 東三河各地で入社、入庁式

四月の新年度を迎え、東三河各地でも入庁式や入社式が執り行われた。



民族衣装を着て記念写真を撮る外国人の新入社員ら＝豊橋市で

物語コーポレーション

○…全国で「焼肉さんぐ」「丸源ラーメン」などの飲食店を展開する物語コーポレーション（豊橋市西岩田）の入社式は市内のホテルであり、外国人の新入社員が多くが民族衣装で出席した。

物語コーポは外国人の積極採用で知られる。本年度は新入社員百十八人のうち二十九人が外国人。ネパール人のマハルザン・サガルさん（三）は「日本の飲食店のおもてなしを学びたい。ネパールと日本で自分の飲食店を開くのが夢」と話した。

物語コーポの入社式は、外国人の新入社員が多いだけでなく、加治幸夫社長が「常にポジティブに挑戦を」「既成概念にとらわれず柔軟な発想を」と一人一人に異なるメッセージを贈るユニークな内容も特徴とコメントした。

豊橋信用金庫

○…二〇二二年に百周年を迎える豊橋信用金庫では、二十二人の新入職員に対する辞令交付式が豊橋市岩田町の同金庫研修会館であった。山口進理理事長は「歴史を大切にし、一日でも早く『仕事に、人に、社会に』慣れてほしい」とコメントした。

豊橋市役所

○…豊橋市役所では、新規採用された職員百二人



職務への心構えを宣誓する新規採用職員の小林さん＝豊橋市役所で

（男性五十三人、女性四十九人）が入庁式で辞令を受け取った。

新人を代表し、市民課の小林鮎実さん（三）が「誠実かつ公正に職務を執行することをかたく誓います」と宣誓した。

佐原光一市長は式辞で「あいさつをしっかりしよう。先輩に仕事のしかたを貪欲に聞き、どんどん発言をして議論が巻き起こる職場の火付け役になって」と呼び掛けた。



記念の写真を撮る山口理事長（手前右）と新入職員＝豊橋市岩田町の豊橋信用金庫研修会館で